

森林審議会保全部会資料

保安林の解除について（諮問）

森林づくり推進課

1 事業計画の概要

(1) 事業計画地

下伊那郡豊丘村大字神稲 12521-329 ほか 2 筆

(2) 解除を必要とする理由

公益上の理由（森林法第 26 条第 2 項）

中央新幹線建設のトンネル工事に伴う建設発生土置き場（本山発生土置き場）

(3) 解除予定保安林の概要

ア 保安林種 水源のかん養保安林

イ 指定年月日 昭和 48 年 6 月 5 日

ウ 保安林面積 195.1666ha（内解除予定面積 9.1551ha）

エ 指定目的 下流域の生活用水・農業用水等を確保するとともに、これら地域における災害を防止するため（当該転用地内に谷止工 4 基、山腹工あり）

オ 水の利用 水道水源は、下流虻川において直接の取水施設はないが、天竜川沿いの地下水でまかなわれている。農業用水については、下流虻川沿いの神稲地区で、主に水田に利用されている。

カ 代替保安林 転用に係り損なわれる保安林の機能を確保するため、同流域において、当該転用面積以上の代替保安林を指定予定（約 9 ha 村有林）である。また、周辺保安林に残置森林等を配置し、維持管理協定を自治体と結び、適正に管理していく計画である。

(4) 申請者

愛知県名古屋市中村区名駅一丁目 1 番 4 号

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部

名古屋建設部長 本田 敦

(5) 事業実施予定期間

令和 2 年 9 月 から 令和 7 年 10 月（別紙、事業計画工事工程表参照）

(6) 事業計画

転用後の用途	発生土置き場	残置森林	進入用道路	維持管理道路	計
保安林	9.1551ha				9.1551ha
保安林 (残置森林)		14.3960ha			14.3960ha
保安林 (作業許可)			0.0085ha	0.1817ha	0.1902ha
その他の土地	0.1861ha		0.0160ha		0.2021ha
計	9.3412ha	14.3960ha	0.0245ha	0.1817ha	23.9434ha

(7) 開発行為の残地森林等の幅

今回の配置計画

発生土置き場の周辺に幅おおむね 50 メートル以上の残置森林等を配置することを基本とするが、現地地形（尾根、谷筋等）に合わせて境界を設定する。

(8) 施設の内容（概要）

ア 新設又は改良する施設の内容（詳細別紙参照）

盛土工	土工	約 130 万 m ³ (L=約 800m、H=約 50m、W=約 270m)	
	補強土工	約 173 千 m ²	
緑化・法面工	植生基材吹付	約 27 千 m ² 、種子吹付	約 41 千 m ²
地表排水工	大型水路工各種、排水工各種		
地下排水工	排水管工各種、排水層工		
洪水調整池工	1 個所	3,870 m ³	
土留擁壁工	1 個所		
埋設工	3 個所		
治山設備工	治山ダム 2 個所、山腹工 2 個所		
仮設工	沈砂池 3 個所		

イ 代替施設の内容（詳細別紙参照）

盛土工	補強土工	約 173 千 m ²	
緑化・法面工	植生基材吹付	約 27 千 m ² 、種子吹付	約 41 千 m ²
地表排水工	大型水路工各種、排水工各種		
地下排水工	排水管工各種、排水層工		
洪水調整池工	1 個所	3,870 m ³	
土留擁壁工	1 個所		
埋設工	3 個所		
治山設備工	治山ダム 2 個所、山腹工 2 個所		
仮設工	沈砂池 3 個所		

2 開発計画区域及び周辺地域の状況

(1) 開発計画区域の概況

○ 地況等

ア 地質	領家帯花崗岩
イ 土壌	砂壤土
ウ 標高	798m～938m
エ 傾斜	10°～60° 平均 35°
オ 降水量	1,612mm

○ 林況

ア 樹種	アカマツ、ヒノキ、その他広葉樹
イ 林齢	25～58 年生
ウ 生育状況	中
エ 疎密度	中
オ 森林の状況	人工林と天然林が混在し、下層にはかん木・ササ類が茂る。

(2) 周辺地域の状況

開発地は、一級河川虻川の支流サースケ洞の上流に位置し、上部には林道大島

虻川線が通る。周辺に人家はなく、主な発生土の搬出箇所である坂島非常口からは約 3.5 km、戸中非常口からは約 7.0 kmに位置する。

3 用地の確保及び同意等の取得状況

項目 区分	面積				土地所有者数		
	筆数	全面積 A (ha)	同意済面 積 B(ha)	比率 B/A	全所有者 数 C(人)	同意者数 D(人)	比率 D/C
所有者等	6	23.9434	23.9297	99	5	4	80

4 他法令の許認可の状況等

事項 法令名	手続きの内容	手続きの状況	備考
無し			